

# 非開削工法のメリット

インフラ管路の老朽化対策など、国土強靱化の取組に非開削工法をご活用ください。

インフラ管路を整備する際、非開削工法は開削工法に比べて、掘削範囲が狭まることで一般的に、地上への影響の抑制、環境負荷の低減、工期の短縮、大規模な工事での費用の縮減、といったメリットがあります。このため特に、都市部や交通量の多い場所での工事に適しています。

## <具体的なメリット>

### ・地表への影響の抑制

掘削範囲を最小限にすることで、近隣の地表の構造物や設備などに与える影響を最小限に抑えます。

さらに、交通止めや交通規制を少なくし、交通渋滞を軽減します。

### ・環境負荷の低減

掘削土や埋め戻し土の量を減らし、土砂運搬に要する車両などが排出する二酸化炭素排出量を減らし、地球温暖化防止に貢献します。

また、管路築造工事による騒音や振動を抑制し、周辺への環境負荷を低減します。

### ・工期の短縮

掘削作業が少ないため、工期を短縮します。

### ・大規模な工事での費用の縮減

掘削や舗装復旧などの工事に要する費用を削減します。

## <非開削工法の種類>

### ・推進工法 ・シールド工法 など